

138 番の歌 白髪のおしきさ

神に仕えた人たちが残した言葉から学ぶ

「老人には知恵があると思わないか。長く生きている人には理解力があると思わないか」。ヨブ 12:12

ポイント：エホバに従うなら、今充実した生き方をすることができ、将来永遠に生きることができます。

1. 年長の人たちから学ぶことが大切なのはどうしてですか。

私たちはみんな、生活の中で大きな決定をするときにアドバイスを必要としています。そうしたアドバイスは、長老たちや経験を積んだ兄弟姉妹からもらうことができます。でも、自分よりずっと年上だからといって、そうした人たちのアドバイスは時代遅れだとすぐに決め付けてはいけません。年長の人たちは、長い人生経験や理解力や知恵を持っています。エホバはそうした人たちから学んでほしいと思っています。（ヨブ 12:12 老人には知恵があると思わないか。長く生きている人には理解力があると思わないか。）

2. この記事ではどんなことを考えますか。

2 聖書時代にエホバは、年長の人たちを通してご自分の民を励まし、導きました。例えば、モーセ、ダビデ、使徒ヨハネがいます。3人は生きていた時代も置かれていた状況も全く違っていました。でも人生の終わり頃に、若い人たちに良いアドバイスを与えました。3人とも、エホバに従うことがどれほど大切かを教えました。エホバはその言葉を記録させ、私たちが読めるようにしてくださいました。私たちは年齢に関係なく、そうした人たちの言葉から大切なことを学べます。（ロマ 15:4 以前に書かれた事柄は皆、私たちを教えるために書かれました。そのおかげで私たちは忍耐でき、聖書から慰めを得られるので、希望を持っていられます。テモ二 3:16 聖書全体は神の聖なる力(*)の導きによって書かれたもので、教え、戒め、矯正し、正しいことに基づいて指導するのに役立ちます）この記事では、3人が残した言葉について調べ、そこからどんなことを学べるかを考えます。

「長く生きていける」

3. モーセはエホバにどのように仕えましたか。

3 モーセは生涯中ずっとエホバに一生懸命仕えました。預言者や裁判人、司令官、歴史家などの役割を果たし、本当にいろいろな経験をしました。エジプトで奴隷だったイスラエル人を救い出し、エホバの奇跡をたくさん目撃しました。また、エホバに導かれて聖書の最初の5つの書や詩編 90編を書きました。詩編 91編やヨブ記もモーセが書いたと思われます。

4. モーセは誰を励ましましたか。どうしてですか。

4 モーセは 120 歳で亡くなる少し前に、イスラエル人の全員を集め、自分たちが経験してきたことを思い起こさせました。モーセの話を聞いていた人たちの中には、エホバがたくさんの奇跡を行ったり、エジプト人に罰を下したりするのを若い時に見た人たちがいました。（出 7:3, 4 私としては、ファラオが強情になるままにし、しるしとなることや奇跡をエジプトで多く行う。4 それでもファラオはあなたたちが言うことを聞かない。それで私は、エジプトの上に手を置いて重い処罰を下し、私の部隊、私の民、イスラエル人をエジプトから連れ出す）2 つに分かれた紅海の間を渡り、ファラオの軍隊が滅ぼされるのを見ました。（出 14:29-31 一方、イスラエル人は海底の乾いた地面を歩き、水はその左右で壁となっていた。30 こうしてエホバはその日、イスラエルをエジプト人から救った。イスラエルはエジプト人が海辺で死んでいるのを見た。31 また、エホバがエジプト人に対して振るった大きな力を見た。民はエホバへの畏れを抱き、エホバとその下で仕えるモーセを信じるようになった）荒野にいた時にはエホバの世話を受け、守ってもらいました。（申 8:3, 4 神はあなたを謙遜にならせ、空腹にならせて、あなたもあなたの父たちも知らなかったマナを食べさせました。それは、人がパンだけで生きるのではなく、エホバの口から出る全ての言葉によって生きる、ということあなたに知らせるためでした。4 この 40 年、あなたが着ていた服は擦り切れず、足も腫れませんでした）そして間もなく約束の地に入ろうとしています。モーセはこの最後の機会に民を励まそうとしていました。*紅海でエホバの奇跡を見たイスラエル人のほとんどは約束の地を見ませんでした。（民 14:22, 23）エホバは、20 歳以上の登録された人たちは荒野で死ぬことになると言っていました。（民 14:29）でも、イスラエル人がヨルダン川を渡ってカナンに入った時、ヨシュアやカレブ、レビ族の人たち、そして若い世代の多くはエホバの約束が実現するのを見ました。（申 1:24-40）

5. モーセは人生の最後に、イスラエル人にどんな保証を与えましたか。（申命記 30:19, 20）

5 モーセは何と言ったか。（申命記 30:19, 20 私は今日、天と地を証人にして、あなたの前に、命と死、祝福と災いを置きました。あなたは生きるために、命を選ばなければなりません。あなたもあなたの子孫もです。20 すなわち、あなたの神エホバを愛し、神の言うことを聞き、神にしっかり付くのです。エホバはあなたに命を与え、父祖たち、アブラハム、イサク、ヤコブに与えたと誓った土地で長く生きていけるようにしてくださいますを読む。）イスラエル人はエホバから素晴らしい見込みを与えられていました。エホバが約束していた土地で長く生きることができのです。しかも、そこは美しく肥沃な土地でした。そのことについてモーセは次のように言いました。「あなた[は]自分で建てたのではない大きくて良い町を得、自分で働いて手に入れたのではないあらゆる良い物でいっぱいの家、自分で掘ったのではない水ため、自分で植えたのではないブドウやオリーブの木も得[る]」。（申 6:10, 11 あなたの神エホバが、あなたに与えると父祖たち、アブラハム、イサク、ヤコブに誓った土地に連れていってくださる時、自分で建てたのではない大きくて良い町を得、11 自分で働いて手に入れたのではないあらゆる良い物でいっぱいの家、自分で掘ったのではない水ため、自分で植えたのではないブドウやオリーブの木も得、食べて満足するようになった時、）

6. イスラエルがほかの国に征服されたのはどうしてですか。

6 モーセはイスラエル人に警告も与えました。この美しい地に住み続けるには、エホバのおきてに従う必要がありました。モーセは、エホバの言うことを聞き、「神にしっかり付」いて「命を選」ぶようにと勧めました。でも、イスラエル人はエホバに従いませんでした。それで、アッシリア人やバビロニア人に征服され、捕囚にされました。（王二 17:6-8 ホセアの治世の第9年、アッシリアの王はサマリアを攻め落とした。イスラエルの民を捕らえてアッシリアに連れていき、ハラハ、ゴザン川のそばのハボル、メディア人の町々に住ませた。7 こうなったのは、イスラエルの民が、エジプトの王ファラオの配下にあったエジプトから連れ出してくださったエホバ神に対して罪を犯したからだだった。民はほかの神々を崇拝し、8 イスラエル人の前からエホバが追い払った国々の習慣や、イスラエルの王たちが作り上げた習慣に従った、13, 14 エホバは預言者や幻を伝える人たち皆を通して、イスラエルとユダにこう警告し続けた。「悪い行いをやめなさい！ 私があなたたちの父祖に命じ、私に仕える預言者を通してあなたたちに伝えた律法全てに従って、私のおきてと法令を守りなさい」。14 それなのに彼らは聞かず、エホバ神に信仰を示さなかった父祖たちと同じようにずっと頑固だった(d*うなじを固くした)。代二 36:15-17 彼らの父祖たちの神エホバは、使者たちを通して警告し続けた。ご自分の民と住まいのことを思いやって何度も警告した。16 それにもかかわらず、彼らは真の神の使者たちをばかにし続け、神の言葉を侮り、預言者たちをあざけったので、ついには矯正しようがないほどになった。エホバはご自分の民に激怒した。17 神は彼らにカルデア人の王を差し向けた。王は聖なる所の家で若者たちを剣で殺し、若い男女にも老人にも病弱な人にも同情しなかった。神は全てを王の手に渡したのである、20 剣から逃れた人たちは捕虜としてバビロンに連れ去られ、ペルシャの王国(*王族)が治め始めるまで、カルデア人の王とその子たちの召し使いとなった)

7. モーセの言葉からどんなことを学べますか。（写真と挿絵も参照。）

7 どんなことを学べますか。 従うことは命につながるということです。約束の地を目前にしていたイスラエル人と同じように、私たちも神が約束した新しい世界に入ろうとしています。間もなく地球はパラダイスへと変えられます。（イザ 35:1 荒野と乾き切った土地は歓喜し、砂漠平原は喜びに満ちてサフラン(*クロッカス)のように花を咲かせる。ルカ 23:43 イエスは言った。「今日あなたに言います。あなたは私と共にパラダイスにいることになります」）その時、悪魔サタンや邪悪な天使たちはもういません。（啓 20:2, 3 その天使は、あの初めの蛇である竜、悪魔サタンを捕らえて、1000年間動けないように縛った。3 そして竜を底知れぬ深みに投げ込み、そこを閉じて封印し、1000年が終わるまで竜がもはや人々を感わさないようにした。その後、竜はしばらくの間解放されることになる）人々をエホバから引き離す、間違った宗教もありません。（啓 17:16 そして、あなたが見た10本の角と野獣は、娼婦を憎み、破滅させて裸にし、彼女の肉を食い尽くし、彼女を火で焼き尽くします）人間の政府によって苦しめられることもなくなります。（啓 19:19, 20 さらに見ると、野獣と地上の王たちとその軍勢が、馬に乗っている方とその軍勢に対して戦うために集まっていた。20 そして、野獣は捕らわれ、野獣の前で奇跡(d*しるし)を行った偽預言者も捕らわれた。偽預言者は、野獣の印を受けた者たちと野獣の像を崇拝する者たちを、奇跡(d*しるし)によって感わしていたのである。野獣も偽預言者も生きたまま、硫黄が燃える火の湖に投げ込まれた）反抗する人たちもいません。（詩 37:10, 11 ほんのもう少しすれば悪人はいなくなる。彼らがいた場所を見ても、もういない。11 しかし、温厚な人は地上に住み続け

(*地球が与えられ)、豊かな平和をこの上なく喜ぶ) 全ての人がエホバの正しい基準に従うので、パラダイスには平和と一致が行き渡ります。みんなが互いを愛し、信頼します。(イザ 11:9 私の聖なる山のどこにも、荒らしたり危害を加えたりするものはいない。水が海を覆っているように、エホバについての知識が必ず地上に満ちるからである) なんと素晴らしい将来が待っているでしょう。それだけではありません。エホバに従うなら、パラダイスとなった地球で、たった数百年ではなく永遠に生きる事ができるのです。(詩 37:29 正しい人は地上に住み続け(*地球が与えられ)、そこで永遠に暮らす。ヨハ 3:16 神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされないで永遠の命を受けられるようにしました。)



エホバに従うなら、たった数百年ではなく永遠に生き続ける事ができる。(7節を参照。)

8. 永遠の命の約束は、ある宣教者の兄弟にとってどのように力となりましたか。(ユダ 20, 21)

8 永遠の命についてのエホバの約束をいつも覚えておくなら、どんなに大変なことがあってもエホバに従いたいという気持ちになります。(ユダ 20, 21 しかし、愛する皆さんは、極めて聖なる信仰によって自分を力づけ、神の聖なる力(*)に導かれつつ祈ってください。21 私たちの主イエス・キリストの憐れみによる永遠の命を待ちながら、神に愛され続けるためです。を読む。) この約束は自分の弱さと闘う力にもなります。アフリカで長年宣教者奉仕をしているある兄弟は以前、悪いことをしたくなる衝動といつも闘っていました。こう言っています。「永遠に生きる見込みが危うくなるということに気付いてから、この問題に真剣に取り組もうという決意が強まりました。助けを求めてエホバにもっと祈るようにもなりました。エホバのおかげで問題を乗り越えることができました」。(内部：永遠の命の希望とともにエホバのために生きている決意が大切)

「あなたは成功する」

9. ダビデはどんな大変な経験をしましたか。

9 ダビデは素晴らしい王でした。音楽家、詩人、強い戦士、預言者でもありました。また、何度も大変な経験をしました。ねたみに駆られたサウル王から命を狙われ、何年にもわたって逃亡生活を送りました。王になった後も、息子のアブサロムが王権を奪おうとした時に命が危うくなったため逃げなければならませんでした。こうした問題に加えて大きな間違いも何度かしましたが、ダビデは生涯を終えるまでずっとエホバに忠実に仕え続けました。エホバはダビデのことを「心にかなう人」と言いました。それで、ダビデのアドバイスを注意深く聞くのは私たちにとって

良いことです。(使徒 13:22 次いで、サウルを退けた後、ダビデを王として立て、こう宣言しました。『私は、心にかなう人、エッサイの子ダビデを見つけた。彼は私の望むことを全て行う』。王 15:5 ダビデがエホバから見て正しいことを行い、ヘト人ウリヤの件を除いて一生涯、神に命じられたことから一切それなかったからである。)

10. ダビデが後継者となる息子ソロモンにアドバイスを与えたのはどうしてですか。

10 ダビデが自分の後継者となる息子ソロモンにどんなアドバイスを与えたかを考えましょう。ソロモンは若い時に、エホバから王として選ばれました。そして清い崇拜を推し進め、エホバを崇拜するための神殿を建てるという役割を与えられました。(代 22:5 ダビデは言った。「わが子ソロモンは若くて、経験が浅い(*か弱い)。それに、エホバのために建てられる家は、あらゆる国に評判と美しさが知られるよう、極めて壮麗であるべきだ。だから、ソロモンのために用意しておこう」。こうしてダビデは死ぬ前に大量の資材を用意した。) こうしたことを行うためには、いろいろな問題に対処する必要がありました。ダビデはソロモンにどのようなアドバイスを与えたでしょうか。

11. 列王第一 2 章 2, 3 節で、ダビデはソロモンにどんなアドバイスをしましたか。この言葉はどのように実現しましたか。(挿絵と写真も参照。)

11 **ダビデは何と言ったか。**(列王第一 2:2, 3 私はもう長くない。だから、勇気を持ち、男らしくありなさい。3 あなたは、あなたの神エホバに対する務めを守らなければならない。神の道を歩み、モーセの律法に書かれている神の法令とおきてと法規と教え(*思い出させるもの)に従いなさい。そうすれば、何をするにしてもどこに行くにしても、あなたは成功する(*賢く行動できる)。を読む。) ダビデはソロモンに、エホバに従うなら成功すると言いました。実際、ソロモンは長年にわたってかなりの成功を収めました。(代 29:23-25 ソロモンは父ダビデの代わりに王としてエホバの王座についた。ソロモンは成功を収め、イスラエル人は皆、ソロモンに従った。24 全高官、強い戦士たち、ダビデ王の子たち全ても、ソロモン王に従った。25 エホバはイスラエル全体の前でソロモンを極めて偉大な者とし、イスラエルの以前のどの王にもなかったほどの、王としての威厳を持たせた。) 壮麗な神殿を建て、聖書の幾つかの書も書きました。ほかの書にもソロモンの言葉が引用されています。そして、非常に賢く裕福であることで有名になりました。(王 4:34 ソロモンの知恵を聞きに、あらゆる国の人たちがやって来た。彼の知恵について聞いた王たちが世界中から来た。) でもダビデが言った通り、ソロモンが成功できたのは、エホバに従っている間だけでした。残念なことに、ソロモンは年を取ってからほかの神々に頼るようになり、エホバからの好意を失ってしまいました。エホバからの知恵が得られなくなり、正しく公正に統治することもできなくなりました。(王 11:9, 10 エホバはソロモンに対して憤った。彼の心がイスラエルの神エホバから離れたからだ。神が2度も彼に現れた上、10ほかの神々に従ってはならないと、まさにそのことを警告していたにもかかわらず、彼はエホバに命じられたことを守らなかった。; 12:4 「あなたの父上は私たちに過酷な荷(d*てんびん棒)を負わせました。あなたがその過酷な労働を楽にし、あなたの父上に負わされた重い(*つらい)荷(d*てんびん棒)を軽くしてくださるなら、私たちはあなたに仕えます」。)



ダビデが息子ソロモンに残した言葉から大切なことを学べる。エホバに従うなら、良い決定をするための知恵をエホバから与えてもらえる。（11-12 節を参照。） * 写真や挿絵: 左: ダビデが死ぬ前に息子ソロモンにアドバイスを与えている。

右: 兄弟姉妹が開拓奉仕学校でエホバからの素晴らしい教育を受けている。

12. ダビデの言葉からどんなことを学べますか。

12 どんなことを学べますか。従うことは成功につながるということです。（詩 1:1-3 何と幸せなのだろう。悪人の意見に従って歩まず、罪人の道に立たず、あざける人と共に座らない人は。2 その人はエホバの律法を喜び、昼も夜も小声で読む(*思い巡らす)。3 水の流れのほとりに植えられた木のようになり、時期が来ると実を結び、その葉は枯れない。行うことは全て成功する。）もちろんエホバは、ソロモンと同じような富や栄光を私たちに与えると約束しているわけではありません。でも、エホバに従うなら、エホバは良い決定を下せるように知恵を与えてくださいます。（格 2:6, 7 エホバご自身が知恵を与えてくださるからである。神の口から知識と識別力が出る。7 神は正直な人のために、役立つ知恵を蓄え、高潔に(*忠誠を尽くして)歩む人のための盾となる。ヤコ 1:5 皆さんの中に知恵の欠けた人がいるなら、その人は神に求め続けてください。神はとがめたり(*あら探しをしたり)せず、全ての人に惜しみなく与えてくださるからです。求め続ければ与えられます。）エホバのアドバイスは、仕事やお金、教育、気晴らしに何をするかといったことを選択するのに役立ちます。友達や家族との関係もさらに良くなります。そして、エホバとの絆や永遠に生きる希望を守ることができます。（格 2:10, 11 知恵があなたの心に入り、知識が心地よいものとなる時、11 思考力があなたを見守り、識別力があなたを保護する。）

13. カルメン姉妹は、何が人生の本当の成功につながるかをどのようにして見つけましたか。

13 モザンビークに住むカルメン姉妹は、高い教育を受けることが成功の鍵だと考えていました。それで、建築を学ぶために大学へ行きました。姉妹はこう言っています。「好きなことを学べるのはとても楽しいことでした。でも、時間やエネルギーを使い果たしてしまっていました。朝の7時半から夕方6時まで学校にいました。集会に行くのも大変で、エホバとの関係はどんどん弱くなりました。自分は2人の主人に仕えようとしているんだ、ということに気付きました」。（マタ 6:24 誰も2人の主人の奴隷にはなれません。一方を憎んで他方を愛するか、一方に尽くして他方を軽く見るかです。神と富との奴隷にはなれません。）姉妹は自分の状況についてエホバに祈り、聖書に基づく出版物を使って調査しました。さらにこう言っています。「長老たちや母親から良いアドバイスをもらい、エホバに全時間仕えるために大学をやめることにしました。人生の中でも本当に良い決定ができたと思います。後悔はまったくありません」。

14. モーセとダビデが伝えたかったメッセージはどのようなものでしたか。

14 **モーセ**と**ダビデ**は**エホバを深く愛し、エホバに従うことの大切さ**を**よく理解**していました。2人とも**人生の最後**に、自分たちと同じように**エホバにしっかり従うよう**にと**人々に勧め**ました。そして、**エホバから離れるなら**、エホバからの**好意を失**い、約束されている**報いも受けられ**なくなってしまうと**警告**しました。このアドバイスは今の私たちにも役立ちます。**モーセやダビデからずっと後の時代のある人**も、エホバに**忠実に仕えることの大切さ**を説明しました。その点を考えてみましょう。

「[これ]ほど、うれしいことはありません」

15. 使徒ヨハネはどんな経験をしましたか。

15 **ヨハネ**は**イエス・キリストに愛された使徒**でした。（マタ 10:2 12使徒の名前は次の通りである。まず、ペテロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレ、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネ、ヨハ 19:26 イエスは、自分の母親と、愛する弟子がそばに立っているのを見て、母親に言った。「見なさい(d*女性よ、見なさい)、あなたの子です！」) イエスと一緒に**各地で伝道**を行い、イエスの**奇跡を目撃**しました。**大変なことがあっても** イエスから**離れません**でした。**イエスが処刑**された時も**そばにいて**、**復活したイエスにも会**いました。また、**キリスト教が広ま**っていき、**良い知らせ**が「**天の下の至る所で伝えられ**」る**様子も見**ました。（コロ 1:23 もちろん、そのためには、信仰を持ち続け、土台の上にしっかり立って動じないようにしなければなりません。**天の下の至る所(*全創造物の中)**で伝えられ、皆さんも聞いた**良い知らせの希望**から、離れていってはなりません。私パウロは、その良い知らせを広める奉仕者となりました。)

16. ヨハネの手紙は誰にとって励みになってきましたか。

16 ヨハネは**長い人生の終わりに**、**聖書の一部を書く**という**特別な機会**を与えられました。例えば、「**イエス・キリストによる啓示**」を記録しました。（啓 1:1 イエス・キリストによる啓示(m*明らかにすること/覆いを取ること)。これは神が、間もなく必ず起きる**事柄**をご自分の**奴隷たちに示すため**、**イエスに与えたものである**。イエスは天使を遣わし、その天使を通して、しるし(*)によって自分(if*神)の**奴隷ヨハネにこの啓示を伝えた**。) また、聖なる力に導かれて、**福音書の1つ**や**3通の手紙**も書きました。3通目の手紙は、**ヨハネが自分の子供のように愛していたガイオ**という**忠実なクリスチャンに宛てたもの**でした。（ヨハ 3:1 **年長の者(*長老)**から、**愛するガイオへ**。私はあなたを本当に愛しています。) **当時**、ヨハネから**子供のように愛されていた人たちはほかに大勢**いたことでしょう。ヨハネが書いた言葉は、**これまでイエスに従ってきた全ての人にとって励み**になってきました。

17. ヨハネ第三4節によると、どんなことから喜びを味わえますか。

17 **ヨハネは何と書いたか**。（ヨハネ第三4 **私の子供たちが真理に従って歩み続けているのを聞くことほど、うれしい(if*感謝すべき)ことはありません**。を読む。) ヨハネは**エホバに従う**ことから**味わえる喜び**について書きました。**ヨハネ第三の手紙を書く頃**には、**間違った教えを広める人**

や、分裂を引き起こす人たちがいました。でもほかの人たちは「真理に従って歩んで」いました。エホバの側にしっかり付いて、「天の父のおきてに従って歩んで」いました。（ヨハ二 4 私はとてもうれしく思っています。あなたの子供たちの中に、天の父から与えられたおきての通り、真理に従って歩んでいる人たちがいるからです。、6 愛とは、天の父のおきてに従って歩んでいくことです。そしておきてとは、あなたたちが初めから聞いている通り、愛を示し続けなければならないということです。）こうした忠実な兄弟姉妹のことを、ヨハネだけでなくエホバも喜んでいたに違いありません。（格 27:11 わが子よ、賢くあって、私の心を喜ばせよ。私をあざける(*に挑む)者に私が答えるためである。)

18. ヨハネの言葉からどんなことを学べますか。

18 どんなことを学べますか。忠実でいることは喜びにつながるということです。（ヨハ一 5:3 神を愛するとは、神のおきてを守ることです。神のおきては重荷ではありません。）私たちが誘惑を退けて真理に従って生きる時、エホバは喜んでくれます。そのことを知ると、私たちも幸せな気持ちになります。（格 23:15 わが子よ、あなたの心が賢くなったら、私は心から喜ぶ。）天使たちも喜びます。（ルカ 15:10 同じように、あなた方に言いますが、悔い改める 1 人の罪人については、神の天使たちが一緒に喜ぶのです）仲間がエホバに忠実に仕えているのを見ると、私たちはうれしい気持ちになります。試練や誘惑に遭っても頑張っていることを知ると、特にそう感じます。（テサ二 1:4 それで、私たちは神の諸会衆の中で皆さんについて誇らしく語っています。皆さんはさまざまな迫害や苦難に遭いながら、忍耐と信仰を示しています。）そしてこの体制が終わる時、サタンが支配する世の中でもエホバの側にしっかり付くことができ、本当に良かったと思えるでしょう。

19. レイチェル姉妹は他の人にエホバについて教えることをどう感じていますか。（写真も参照。）

19 私たちは他の人にエホバについて教える時、特に喜びを味わうことができます。ドミニカ共和国に住むレイチェル姉妹は、エホバという魅力的な神について他の人に教えられるのは本当に素晴らしいことだと感じています。姉妹はこれまでエホバに仕えるよう何人もの人を助けてきました。こう言っています。「学んでいる人がエホバへの愛を深め、エホバに頼るようになり、エホバに喜んでもらうために自分の生活を調整していく様子を見る時、本当にうれしくなります。この喜びは言葉では言い表せません。どんな努力や犠牲も払う価値があります」。



エホバを愛することやエホバに従うことの大切さを教えるなら、喜びを味わえる。（19 節を参照。）

神に仕えた人たちの最後の言葉から学ぶ

20. 私たちと、モーセやダビデやヨハネにはどんな共通点がありますか。

20 私たちは、モーセやダビデやヨハネとは、**生きている時代**も置かれている**状況**も**違い**ます。でも**共通点**もたくさんあります。3人と同じように、私たちも**真の神に仕えています**。また、エホバに**祈り**、エホバを**信頼し**、**導きを求め**ます。エホバが**ご自分に従う人を豊かに報いてくださる**ということも**確信**しています。

21. エホバに忠実に仕えた人たちが残した言葉を心に留めるなら、どんな良い結果になりますか。

21 エホバに**忠実に仕えた人たちが残した言葉**を**心に留め**、これからもエホバの**おきてに従って**いきましょう。そうするなら、**私たちの行うことは全て成功**します。そして、**命を得て** **「長く生きていけ[ます]」**。しかも**永遠に**です。(申 30:20 **すなわち、あなたの神エホバを愛し、神の言うことを聞き、神にしっかり付くのです。エホバはあなたに命を与え、父祖たち、アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓った土地で長く生きていけるようにしてくださいます**) また、愛する天のお父さん**エホバに喜んでもらう**ことができ、**喜びを味わえ**ます。**将来**、エホバは私たちの**想像をはるかに超える仕方**で、**ご自分の約束を全て果たして**くださいます。(エフェ 3:20 **神は、ご自分の力を私たちの中で働かせ、私たちのどんな願いや考えをもはるかに超えた事柄を行うことができます。その方が、**)

次の人が残した言葉からどんなことを学べますか

1. **モーセ** ・S07 **従うことは命につながる**ということ。約束の地を目前にしていたイスラエル人と同じように、私たちも神が約束した新しい世界に入ろうとしています。間もなく地球はパラダイスへと変えられる。**エホバに従うなら、パラダイスとなった地球で、たった数百年ではなく永遠に生きることができる。**

2. **ダビデ** ・S12 **従うことは成功につながる**ということ。エホバに従うなら、エホバは**良い決定を下せるように知恵を与えて**くださる。エホバのアドバイスは、**仕事やお金、教育、気晴らし**に何をするかといったことを**選択するのに役立つ**ちます。**友達や家族との関係もさらに良くなる**。そして、**エホバとの絆や永遠に生きる希望を守る**ことができる。

3. **ヨハネ** ・S18 **忠実でいることは喜びにつながる**ということ。私たちが**誘惑を退けて真理に従って生きる時**、**エホバは喜んでくれます**。そのことを知ると、私たちも**幸せな気持ちになる**。**天使たちも喜ぶ**。**仲間がエホバに忠実に仕えているのを見**ると、私たちは**うれしい気持ちになります**。試練や誘惑に遭っても頑張っていることを知ると、特にそう感じる。そして**この体制が終わる時**、**サタンが支配する世の中でもエホバの側にしっかり付くことができ**て本当に良かったと思える。

[129 番の歌](#) 決して負けない 最後まで